

2018年 5月20日
NPO法人 森を再生する会

水源の森を守ろう！ 取り戻そう！

— 目 次 —

・間伐材利用の試み	1 P
・平成 29 年度の活動概要	2 P
・水源林確保の請願書安城市議会で可決	4 P

・平成 30 年度活同計画	5 P
・寄付のお礼	5 P

間伐材の利用の試み

神谷輝幸




平成 29 年度は、間伐材の利用について新たな活動を始めました。ヒノキのまな板、スギ材を使ったプランターづくり、スギ材で五平餅の串づくり、子供たちの間伐材工作等です。

建築材として使うには、搬出、製材等コスト的に採算割れです。やはり輸入材に勝てません。そこで、生活の中で使うことのできる小物を作ってみました。そのうちで、ヒノキのまな板は好評でした。抗菌作用があるといわれ、香りは癒しの効果があります。ヒノキの切れ端を湯船に入れれば、ヒノキ風呂が味わえます。





間伐材の加工では、杉浦建築の杉浦良和さんのご厚意があって初めて実現できました。バンドソー、手押しかんな、傾斜版、丸鋸等機械が揃っており、能率的に加工できました。

わが家でも台所は、ヒノキのまな板が活躍しています。西納庫にある森を再生する会の山から間伐材を切り出し、杉浦建築で製材したもので愛着がわいてきます。、会員の皆さんにも順次配布していきます。ヒノキは、香りもよく包丁にも優しく肌触りもよく主婦に喜ばれています。秋葉いこいの広場・環境学習センターでも、ヒノキの間伐材がものかけとして活躍しています。間伐材を加工したものが欲しい方は、お申し出ください。

平成29年度の活動概要

写 真	内 容
	<p>行事名：間伐 日時：平成29年4月23日 8：30-16：30 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山参加者数：12名 指導者：杉野賢治</p>
	<p>行事名：間伐 日時：平成29年5月21日 8：30-16：30 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山参加者数：8名</p>
	<p>行事名：間伐及び間伐材刻み作業 日時：平成29年6月2日 8：30-16：30 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山参加者数：9名</p>
	<p>行事名：間伐指導会 日時：平成29年6月18日 8：00-17：00 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山 参加者数：12名</p>
	<p>行事名：自然観察会 日時：平成29年7月9日 8：30-17：00 場所：愛知県北設楽郡設楽町 千年の森 参加者数：20名</p>

	<p>行事名：間伐材片づけ・搬出 日時：平成29年7月23日 8：30-17：00 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山 参加者数：8名</p>
	<p>行事名：間伐材搬出 日時：平成29年8月22日 8：30-17：00 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山 参加者数：19名</p>
 	<p>行事名：植樹準備 日時：平成29年9月24日 8：30-17：00 場所：愛知県北設楽郡設楽町 下山 参加者数：9名</p>
 	<p>行事名：植樹&森づくり講座 場所：北設楽郡設楽町下山 日時：平成29年10月22日 参加者数：15名 指導者：吉野知明</p>
    	<p>行事名：間伐指導会 場所：北設楽郡設楽町下山 日時：平成29年11月26日 参加者数：16名 指導者：杉野賢治 写真説明 上左＝指導者による伐倒 上右＝炭散布&獣害ネット 中左＝安全パンツ 中右＝竹支柱 下＝獣害ネット固定用竹</p>

 <p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p>  <p>④</p>	<p>行事名：まな板づくり 場所：安城市安城町 杉浦建築 日時：平成29年12月17日 参加者数：5名 指導者：杉浦良和</p> <p>写真説明（上から） ① 木口切断 ② 手押しカンナで平面を作る ③ 帯鋸で板に製材 ④ 手押しカンナで仕上げ</p> <p>※まな板（ヒノキ）は、森づくり参加者に配布した。</p>
--	---

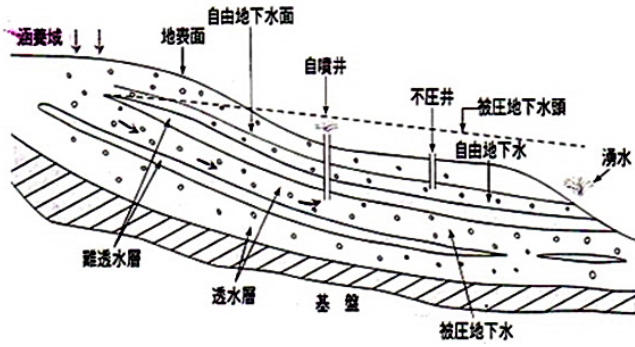
安城市の地下水の

利用を考える

1、水道水の30%は地下水から

安城市の水道水は、全体の30%を地下水から汲み上げて市民の飲料水として使用しています。その量は年間およそ628万トンです。この水は市民が水道料金として負担しています。

一方、企業等も最近自前の井戸を掘り地下水を使用しています。現在、その井戸は121本で、汲み上げる地下水の量は、年間およそ738万トンで



す。この地下水は、企業は水道料金を払っていません。この地下水の量に水道料金をかけると、年間およそ15億円に上ります。

2、地下水の枯渇、地盤沈下の恐れ

このまま大量の地下水の汲み上げが続くと、地下水の枯渇あるいは地盤沈下が起きる可能性が十分あります。アメリカ合衆国では大量の農業用水に地下の化石水を汲み上げているために既に枯渇している場所があります。この化石水は、石油・石炭と同じで再生可能な資源ではありません。

3、安城市の地下水は再生可能な水資源

安城市が利用している地下水は、遠くの森から地下深く浸透して、約200年程かけて、地下水帯を下って安城市に到達します。この地下水は水源地の森を厚い腐葉土の森にすれば再生可能です。現在の山の状況は、スギ・ヒノキの放置林で、腐葉土もできない荒れた山になっています。保水力も下がり、山崩れ、洪水が頻発しています。

4、サントリーホールディング株式会社は、責任を果たしています。

これは人為的災害です。今、水をくみ上げる者の責任で未然に解決するための努力を始めた企業があります。水で生きるサントリーホールディング株式会社では、自社で地下水を汲み上げる量の水源涵養林を買収し、広葉樹の森「天然水の森」を作っています。その面積7000haを超えています。

5、次世代へのプレゼント

「蛇口をひねるときは、常に上流の森を思え！」この言葉を次世代に伝えることも私たちの使命とします。水不足が世界的にも足元にも及んできます。日本は雨に恵まれた国ですが、川は急流のため、決して利用できる水は多くありません。広葉樹の腐葉土豊かな森を育て保水力を高め良質で豊富な水を確保する努力が必要です。

水源林確保の請願書安城市議会で可決！

特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょう

エコネットあんじょうは、平成29年8月23日付で安城市議会議長あてに請願書を提出しました。エコネットあんじょう、特定非営利活動法人いのちの森づくり実行委員会紹介議員として深津修氏の連名で提出したのですが、9月議会で、各党、各会派の賛同を得て全会一致で可決されました。請願事項は

「安城市の水を確保するため、水源涵養林の保全に資する基金を設立するなどし、将来にわたって良質な水を安定的に供給できるように努める。」

というものです。もう少し平たく説明すると、安城市の水道料金のうち、水源涵養林を購入し保全するために1m³当たり1円を基金として積み立てるという請願です。

理由として、近年、水の需要は高まり、飲料水や防災のために地下水を利用する傾

向も強まっています。そのために、今後は、矢作川の水だけでなく、地下水にも目を向けて良質な水を得るために水源の森を確保することが重要です。

現在、水源地の山は、スギ・ヒノキの放置林が目立ち、水源林としての機能が低下しています。平成12年の東海豪雨では、水源地の山はいたるところで削られ、激しい爪痕を残しました。このことをきっかけに豊田市では、水道料金の一部で水道水源林を購入し、水源林保全事業を始めました。

水の恩恵を多く受けてきた安城市民として、NPO法人森を再生する会は、奥三河の設楽町において、水源地保全のため、広葉樹の植林を進めてきました。当会は、平成22年に、設楽町の山林2ha購入し、水源林として広葉樹を植林し、水源林づくりを進めています。

また、認定特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうは、安城市と交流の深い根羽村の山林36haを購入し、水源保全林として確保する運動を始めています。

私たちのこうした活動は、安城市民が広く享受する水の問題であり、啓発の意味でしかありません。今後は、市民の生活やいのちを守るために、安城市として取り組むべき問題であると信じています。

今年は、岡田菊次郎翁生誕150年に当たります。翁の遺志を引き継ぐためにも、根羽村の山林を購入し、水の受益者である都市部の人々が、豊かな広葉樹に包まれた水源の森を永久に保全する事は、時代の要請だと考え、以下お願いいたします。

平成30年度水源の森づくり活動計画 歴史博物館8:00集合

- 4月29日(日) 間伐(納庫水源の森)
- 5月20日(日) 間伐(納庫水源の森)
- 6月24日(日) 間伐(納庫水源の森)
- 7月29日(日) 「千年の森」自然観察会(設楽町)
- 8月4日(土) 搬出(納庫水源の森)「グリーンそう」と共催
- 8月26日(日) 間伐(納庫水源の森)、間伐効果調査
- 9月23日(日) 間伐(納庫水源の森)
- 10月28日(日) 植樹&獣害防止ネット設置
- 11月25日(日) ドングリ蒔き、間伐材搬出
- 12月2日(日) 間伐材加工体験・まな板など。

☆29年度 NPO森を再生する会へ寄付をいただいた方々☆

次の方々からご寄付をいただきました。(寄付受付日付順)

神谷 守様 円
神谷俊治様 円
遠山松枝様 20,000円

深く感謝申し上げます、山を購入する基金として積み立ててまいります。